8. 補助金等の内訳並びに交付者, 当期の増減額及び残高 補助金等の内訳並びに交付者, 当期の増減額及び残高は, 次のとおりである。

(単位:円)

補助金等の 名 称	交付者	前期末 残 高	当期増加額	当期減少額	当期末 残 高	貸借対照表 上の記載区分
国際交流事業 市 補助金	鈴鹿市	0	20,141,000	20,141,000	0	_
合 計	_	0	20,141,000	20,141,000	0	_

9. 関連当事者との取引

なし

10. 重要な後発事象

なし

付属明細書

- 1. 基本財産及び特定資産の明細 財務諸表に対する注記 2 で記載しているため省略
- 2. 引当金の明細

(単位:円)

科目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
作中日	别目/父向		目的使用	その他	别不/父同
退職給付引当金	1,396,700	534,100	_	_	1,930,800

財 産 目 録

平成 27 年 3 月 31 日現在

(単位:円)

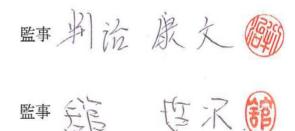
	<i>₽</i> <u> </u>	[B -> 1] = 55	1+ III II 44 kh	(単位:円)
Name I No. 11	貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額
流動資産	普通預金			
	百五銀行 鈴鹿支店	No.365008	運転資金として	5,758,834
	三重銀行 鈴鹿支店	No.1349239	運転資金として	2,624,309
	第三銀行 鈴鹿支店	No.2927071	運転資金として	10,106
	鈴鹿農業協同組合 本店	No. 0015503	運転資金として	11,307
	未収金		従業員社会保険料個人負担分	1,616
	前払金		年末調整繰越超過額	10,571
	流動資産合計			8,416,743
(固定資産)				
基本財産	定期預金			
	百五銀行 鈴鹿支店	No.1335848	公益目的使用財産であり、運用益を公益目的 事業、法人運営の財源として使用している	10,220,488
	三重銀行 鈴鹿支店	No.2075146	ıı	10,000,000
	第三銀行 鈴鹿支店	No.2927072	II	5,000,000
	鈴鹿農業協同組合 本店	No.28228611	ı,	5,000,000
	ZING XXX WATER TO THE			3,000,000
	投資有価証券			
	国庫債券資金(日本国)	国債(第93回)	ı,	119,779,512
	基本財産合計			150,000,000
	五年71年1月			100,000,000
特定資産	退職給付引当資産	三重銀行鈴鹿市店 No.1913949	退職給付引当資産として管理されている預金	1,930,800
	減価償却引当資産	百五銀行 鈴鹿市店 No.593660	減価償却引当資産として管理されている預金	1,360,624
	特定費用準備資金	三重銀行鈴鹿市店 No.1908279	周年事業用積立資産として管理されている預金	2,684,789
	特定資産合計			5,976,213
その他の 固定資産	車両運搬具	公用車(アクティ)	公益目的等保有財産であり、公益目的事業 法人運営に使用している	1
	ソフトウェア	フィット公益会計	法人運営に使用している	390,775
	その他の固定資産合計			390,776
固定資産合計				156,366,989
	資産の部合計			164,783,732
流動負債				, ,,,,,,,
	未払金	年金機構等対する未払額	補助金返納、保険料等 11件の未払い分	618,437
	前受金	わいわい春まつり協賛金, 次年度賛助会費	2015 年度わいわい春まつりの協賛金と, 賛助会 費、日本語講座受講料	190,800
	預り金	職員からの預り金	社会保険料、労働保険料の納付に備えたもの	218,941
流動負債合計				1,028,178
固定負債				
	退職給付引当金	職員に対するもの	職員に対する退職金の支払いに備えたもの	1,930,800
固定負債合計				1,930,800
	負債の部合計		•	2,958,978
	正味財産			161,824,754

監査報告書

平成 27 年 5 月 14 日

公益財団法人 鈴鹿国際交流協会

理事長平井憲章様



私たち監事は、平成27年5月14日(木)に公益財団法人 鈴鹿国際交流協会事務所において、協会の平成26年4月1日から平成27年3月31日までの平成26年度に係る貸借対照表、正味財産増減計算書、正味財産増減計算書内訳表、財産目録及びその他付属書類の監査を行いましたので、以下のとおり報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

私たち監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、その職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査しました。

さらに会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該年度に係る貸借 対照表、正味財産増減計算書、正味財産増減計算書内訳表、財産目録及びそ の他付属書類について検討しました。

2 監査の結果

貸借対照表、正味財産増減計算書、正味財産増減計算書内訳表、財産目録及びその他付属書類は、本協会の財産及び収支の状況をすべて重要な点において適正に表示しているものと認めます。

以上